第5章 調査結果

1 普段の生活

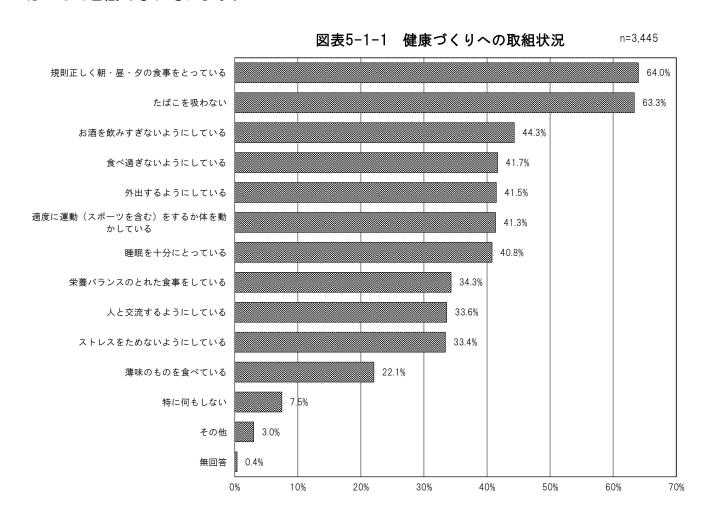
(1)健康づくりへの取組状況

問 11

あなたは、日ごろ健康づくりのため、どのようなことに取り組んでいますか。 (当てはまるもの全てにO)

1)全体集計結果

日ごろ健康づくりのために取り組んでいる内容は、「規則正しい朝・昼・夕の食事をとっている」が 64.0%と最も高く、次いで「たばこを吸わない」が 63.3%、「お酒を飲みすぎないようにしている」が 44.3%となっています。一方、「特に何もしない」と回答した市民の割合は 7.5%と低くなっています。



2) 属性分析結果

無回答(n=21)

72.0% 56.8%

43. 2% 52. 8%

① 「健康づくりへの取組状況」×「年齢」

年齢別にみると、日ごろ健康づくりのために取り組んでいる内容として、年齢が高くなるにつれて「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」、「食べ過ぎないようにしている」、「適度に運動をするか体を動かしている」や「睡眠を十分にとっている」と回答した市民の割合が高くなる傾向にあります。また、「たばこを吸わない」と回答した市民の割合は、概ね全ての年齢で高くなっています。

を規 てお 食 るむ適 し栄 てス そ ば ع の と則 い酒 出 度 眠 て養 いト 味 に 回 つ正 るを をに いバ 交 るレ 他 Ξ 過 を の 何 答 す てし るラ ŧ を 飲 ぎ る す運 流 ス ŧ 吸 な る動 分 の し いく H す る朝 ゎ す い う に ス る を な か〜 t-とっ j な ぎ に 体ス ത 食 ょ Κħ 昼 な う し をポ ح う な べ て い に て 動丨 て れ に い 夕 かツ た ょ い し ょ い い L う മ て る しを る 食 τ う る 食 に い 事 い に て含 事 を 全体(n=3,445) 64 0% 63 3% 44.3% 41.7% 41.5% 41.3% 40 8% 34 3% 33.6% 33. 4% 22.1% 7.5% 3 0% 0 4% 18~19歳 (n=54) 28.8% 27.1% 22.4% 39.7% 15.5% 9.0% 16.8% 42.9% 45.3% 46.9% 36.3% 29.6% 0.0% 0.0% 20~24歳 (n=153) 60.4% 52.7% 24.4% 49.2% 36.5% 39.8% 21.4% 42.0% 22.0% 10.3% 7.6% 0.0% 0.0% 25~29歳(n=177) 53.4% 64.2% 50.8% 30.1% 47.8% 34.2% 42.1% 33.2% 32.8% 30.0% 11.1% 6.1% 1.2% 0.0% 30~34歳 (n=185) 50.6% 63.1% 55.8% 30.9% 43.2% 23.6% 43.0% 27.0% 29.9% 28.5% 8.9% 6.3% 2.2% 0.0% 35~39歳 (n=193) 57.1% 65.9% 51.0% 31.4% 37.5% 26.4% 35.9% 26.8% 27.3% 26.8% 13.8% 5.9% 1.0% 0.0% 40~44歳 (n=254) 53.0% 61.0% 42.9% 29.6% 37.8% 33.0% 33.0% 26.1% 28.1% 23.6% 12.2% 9.2% 1.5% 0.6% 45~49歳 (n=274) 14.9% 8.9% 50.7% 62.2% 44.8% 34.1% 34.6% 31.1% 31.2% 29.0% 25.5% 29.0% 1.8% 0.4% 50~54歳 (n=282) 57.9% 58.9% 45.3% 39.0% 40.4% 37.6% 32.0% 36.1% 25.3% 31.0% 21.4% 7.8% 2.3% 0.4% 55~59歳 (n=304) 57.7% 61.0% 43.2% 41.3% 35.8% 37.5% 32.1% 34.1% 25.6% 33.3% 21.5% 8.9% 0.8% 0.3% 60~64歳 (n=277) 39.2% 47.5% 42.7% 62.4% 58.6% 36.8% 42.6% 37.1% 32.3% 37.1% 24.5% 5.4% 4.2% 0.0% 65~69歳(n=287) 37.6% 46.3% 37.9% 47.5% 35.1% 33.2% 7.0% 1.6% 1.0% 75.1% 65.4% 34.1% 36.2% 20.5% 70~74歳 (n=279) 74.1% 67.7% 43.5% 45.5% 43.4% 57.6% 42.3% 38.0% 40.9% 38.6% 29.7% 5.6% 5.6% 0.3% 75~79歳 (n=330) 41.8% 50.2% 56.2% 52.4% 42.7% 82.7% 70.3% 59.1% 44.1% 45.9% 37.6% 6.0% 4.0% 0.9% 80歳以上(n=375) 85.7% 43.6% 56.3% 46.4% 53.5% 58. 7% 46.2% 44.0% 36.8% 9.1% 8.0% 0.5% 66.1% 36.1%

図表5-1-2 健康づくりへの取組状況(年齢別)

48.0% 62.4%

37.6%

38.4%

56.8%

52 0%

9.6%

14.4%

0.0%

28.0%

[※]回答を見やすくするよう、回答率 40%以上に濃い影、20%以上 40%未満に薄い影をつけました。

① 「健康づくりへの取組状況」×「居住地区」

居住地区別にみると、日ごろ健康づくりのために取り組んでいる内容は、すべての地区において「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」と回答した市民の割合が高くなっています。 また、「たばこを吸わない」や「お酒を飲みすぎないようにしている」と回答した市民の割合 も概ね全ての地区で高い傾向にあります。

図表5-1-3 健康づくりへの取組状況(居住地区別)

		R										8		
	をとっている 規則正しく朝・昼・夕の食事	たばこを吸わない	ているお酒を飲みすぎないようにし	食べ過ぎないようにしている	外出するようにしている	む)をするか体を動かしていむ)をするか体を動かしてい適度に運動(スポーツを含	睡眠を十分にとっている	している 栄養バランスのとれた食事を	人と交流するようにしている	ているストレスをためないようにし	薄味のものを食べている	特に何もしない	その他	無回答
全体 (n=3, 445)	64.0%	63.3%	44.3%	41.7%	41.5%	41.3%	40.8%	34. 3%	33. 6%	33. 4%	22. 1%	7. 5%	3. 0%	0.4%
逢妻 (n=241)	61.4%	61.8%	41.5%	40. 7%	39.0%	37. 8%	33.6%	31. 5%	29. 5%	31. 1%	19. 9%	4. 6%	2. 5%	0. 4%
朝日丘(n=223)	60.1%	65.9%	47.1%	41.3%	38.6%	43.9%	43.5%	38. 6%	33. 6%	34. 1%	26. 9%	10. 8%	1.3%	0.4%
井郷 (n=115)	59.1%	67.0%	43.5%	40.0%	37. 4%	39. 1%	39. 1%	36. 5%	32. 2%	26. 1%	22. 6%	9.6%	0.9%	0.0%
石野 (n=87)	70.1%	63. 2%	50.6%	37.9%	40. 2%	46.0%	50.6%	34. 5%	40. 2%	35. 6%	25. 3%	4. 6%	5. 7%	0.0%
梅坪台 (n=89)	62.9%	67. 4%	44.9%	38. 2%	42. 7%	34. 8%	33. 7%	32. 6%	28. 1%	28. 1%	18. 0%	12. 4%	3. 4%	0.0%
上郷 (n=156)	66.7%	66.0%	50.0%	36.5%	37. 8%	48. 1%	41.7%	30. 1%	31. 4%	30. 8%	16. 7%	7. 7%	3. 8%	0.6%
猿投(n=106)	64. 2%	68.9%	53.8%	51.9%	37. 7%	50.0%	41.5%	38. 7%	25. 5%	34. 0%	27. 4%	5. 7%	3. 8%	0.9%
猿投台(n=122)	70.5%	67. 2%	49. 2%	40. 2%	41.8%	44. 3%	36.1%	35. 2%	32. 0%	29. 5%	21. 3%	9.0%	4. 9%	0.0%
浄水 (n=123)	64. 2%	63. 4%	51. 2%	41.5%	44. 7%	35.8%	35.8%	38. 2%	28. 5%	33. 3%	13. 8%	8. 9%	6. 5%	0.0%
末野原 (n=199)	55.3%	61.8%	43. 2%	40. 2%	42. 2%	42. 7%	42. 2%	29. 1%	40. 7%	35. 7%	20. 1%	9.0%	2. 5%	0.0%
崇化館(n=185)	61.6%	61.1%	43.8%	44. 9%	48.1%	41.6%	42. 7%	40.0%	30. 3%	33. 5%	25. 9%	7. 0%	1.1%	0.0%
高岡(若林) (n=165)	58.8%	57.0%	42. 4%	38.8%	43.6%	41.8%	41.8%	34. 5%	38. 2%	37. 6%	18. 8%	7. 9%	2. 4%	0.6%
高橋 (n=185)	62. 7%	63.8%	38.9%	42. 2%	35. 1%	38.9%	40. 5%	35. 1%	25. 9%	34. 1%	21. 1%	7. 6%	4. 3%	1.1%
豊南 (n=237)	65.8%	62.9%	41.8%	43.5%	43.9%	40.9%	39. 2%	35. 0%	34. 6%	31. 2%	21.5%	7. 6%	2.5%	0.8%
保見 (n=98)	65.3%	68. 4%	38. 8%	42.9%	41.8%	41.8%	49.0%	31. 6%	35. 7%	29. 6%	30. 6%	7. 1%	2. 0%	0.0%
前林 (n=149)	66.4%	57. 7%	41.6%	44. 3%	43.0%	35. 6%	41.6%	30. 9%	32. 9%	33. 6%	18. 8%	5. 4%	2. 7%	0. 7%
益富 (n=102)	71.6%	63. 7%	49.0%	45.1%	51.0%	44. 1%	40. 2%	46. 1%	45. 1%	28. 4%	25. 5%	6. 9%	2. 0%	1.0%
松平 (n=107)	64.5%	68. 2%	50.5%	43.9%	35. 5%	44. 9%	43.9%	31. 8%	31. 8%	31. 8%	19. 6%	5. 6%	3. 7%	0.0%
美里(n=159)	67.9%	67.3%	45.9%	44.0%	47.8%	45. 3%	50.9%	35. 8%	37. 1%	36. 5%	23. 3%	6.9%	4. 4%	0.6%
竜神(n=200)	61.5%	60.5%	44.0%	36.5%	45.0%	41.0%	34.0%	29. 5%	37. 0%	38. 5%	18. 0%	6.5%	2.5%	0.0%
若園 (n=125)	65.6%		43. 2%	40.8%	41.6%	36.8%	48.0%	34. 4%	33. 6%	42. 4%	28. 8%	7. 2%	3. 2%	0.0%
旭(n=111)		63.1%	38. 7%	43. 2%	38. 7%	42.3%	56.8%	33. 3%	47. 7%	37. 8%	29. 7%	9.9%	1.8%	0.0%
足助 (n=107)	76.6%	56.1%	34.6%	38.3%	40. 2%	45.8%	40. 2%	25. 2%	34. 6%	29. 0%	25. 2%	6.5%	1.9%	1.9%
稲武 (n=92)	79.3%	64.1%	45. 7%	45. 7%	35.9%	51.1%	51.1%	43. 5%	39. 1%	40. 2%	31.5%	5. 4%	2. 2%	0.0%
小原 (n=97)	66.0%	60.8%	33.0%	44. 3%	37.1%	36. 1%	45. 4%	30. 9%	37. 1%	37. 1%	28. 9%	11. 3%	5. 2%	1.0%
下山 (n=106)	64. 2%	58.5%	40.6%	34. 9%	41.5%	47. 2%	36.8%	33. 0%	29. 2%	34. 9%	25. 5%	5. 7%	0.9%	0.0%
藤岡(n=109)	64. 2%	61.5%	44.0%	43.1%	34. 9%	41.3%	34. 9%	33. 9%	33. 0%	31. 2%	17. 4%	7. 3%	5. 5%	0.0%
藤岡南 (n=63)	69.8%	71.4%	44. 4%	49. 2%	42.9%	33. 3%	30. 2%	36. 5%	33. 3%	36. 5%	22. 2%	3. 2%	3. 2%	0.0%
無回答 (n=39)	64.1%	51. 3%	46. 2%	46. 2%	25. 6%	35. 9%	56.4%	30. 8%	41.0%	33. 3%	33. 3%	7. 7%	7. 7%	0.0%

[※]回答を見やすくするよう、回答率 40%以上に濃い影、20%以上 40%未満に薄い影をつけました。

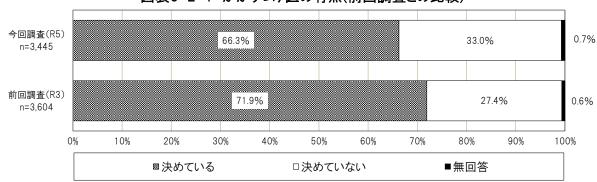
(2) かかりつけ医の有無

問12

あなたは、かかりつけ医を決めていますか。(1つに○)

1)全体集計結果

かかりつけ医を決めている市民の割合は 66.3%となっており、前回調査と比較すると、5.6 ポイント減少しています。

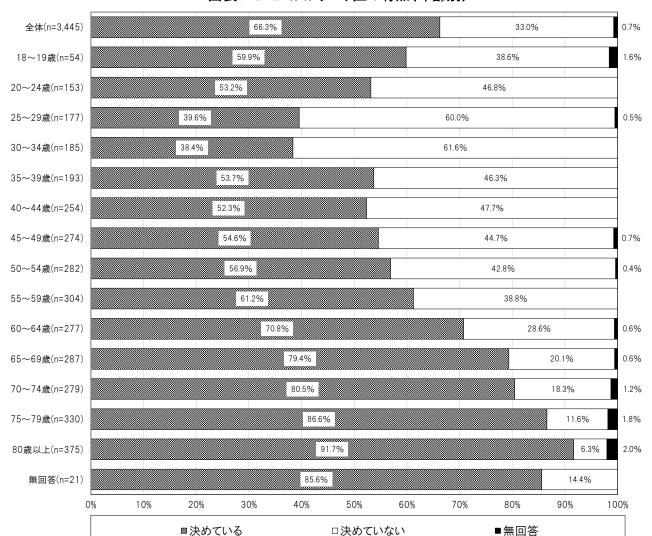


図表5-2-1 かかりつけ医の有無(前回調査との比較)

2)属性分析結果

① 「かかりつけ医の有無」×「年齢」

年齢別にみると、かかりつけ医を決めている市民の割合は、80歳以上で91.7%と最も高くなっています。また、60歳以上では70%以上の市民がかかりつけ医を決めていると回答しています。

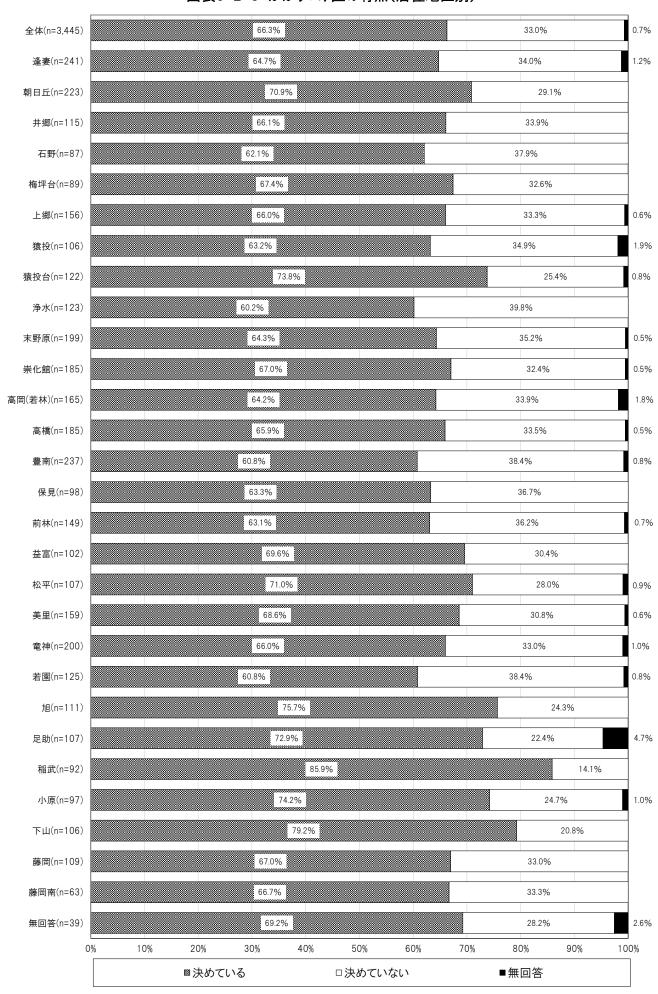


図表5-2-2 かかりつけ医の有無(年齢別)

② 「かかりつけ医の有無」×「居住地区」

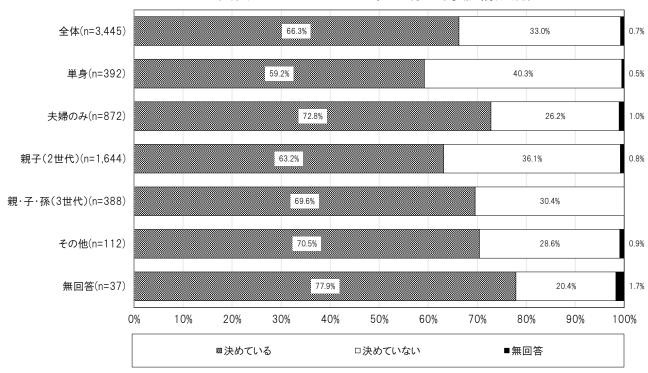
居住地区別にみると、かかりつけ医を決めている市民の割合は、稲武が85.9%と最も高く、次いで下山が79.2%、旭が75.7%となっています。一方、浄水が60.2%、豊南が60.8%と低くなっています。

図表5-2-3 かかりつけ医の有無(居住地区別)



③ 「かかりつけ医の有無」×「家族構成」

家族構成別にみると、かかりつけ医を決めている市民の割合は、夫婦のみ世帯が 72.8%と 最も高く、次いでその他の世帯が 70.5%となっています。



図表5-2-4 かかりつけ医の有無(家族構成別)

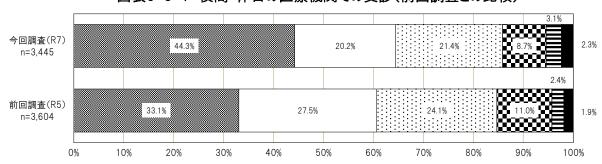
(3) 夜間・休日の医療機関での受診

問13

あなたは、夜間や休日に医療機関を受診するかどうか判断に迷った時、どうしますか。(1 つに○) (※意識がない場合やけいれんが止まらない等明らかに重症であると思われる場合を除く)

1)全体集計結果

夜間や休日に医療機関を受診するかどうか判断に迷った時の対応は、「受診が必要な症状か調べる」と回答した市民の割合が 44.3%と最も高く、前回調査と比較して 11.2 ポイント増加しています。次いで「電話相談窓口(0120-799192)や医療機関、家族などに相談する」が 20.2%となっていますが、前回調査と比較すると 7.3 ポイント減少しています。



図表5-3-1 夜間・休日の医療機関での受診(前回調査との比較)

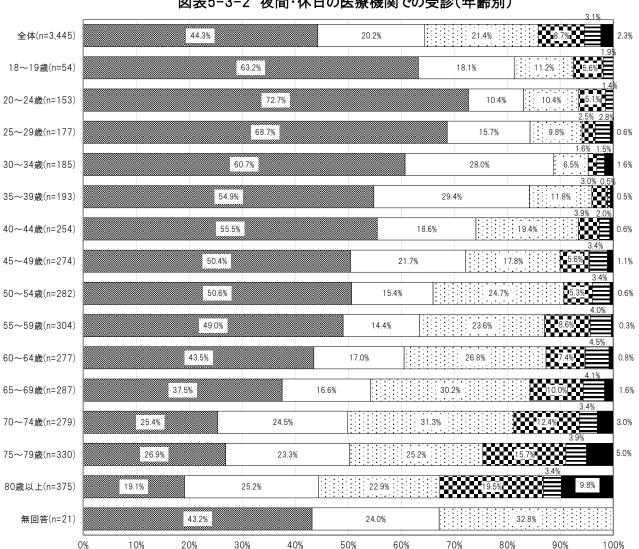
■受診が必要な症状か調べる

- □電話相談窓口(とよた急病・子育てコール24~育救さんコール~:0120-799192)や医療機関、家族などに相談する □特に調べたり相談したりすることなく医療機関を受診する
- □救急車を呼ぶ
- ■その他
- ■無回答

2) 属性分析結果

① 「夜間・休日の医療機関での受診」×「年齢」

年齢別にみると、「受診が必要な症状か調べる」と回答した市民の割合は、概ね年齢が高くなるのに比例して減少しています。一方、「救急車を呼ぶ」と回答した市民の割合は、年齢が高くなるのに比例して増加する傾向が見られます。



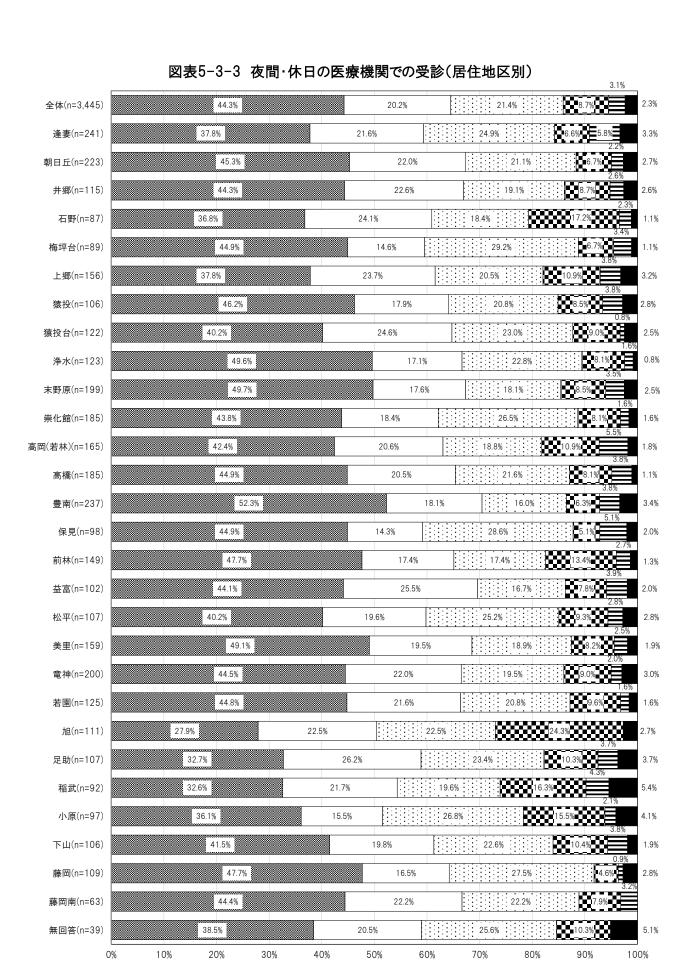
図表5-3-2 夜間・休日の医療機関での受診(年齢別)

■受診が必要な症状か調べる

- □電話相談窓口(とよた急病・子育てコール24~育救さんコール~:0120-799192)や医療機関、家族などに相談する □特に調べたり相談したりすることなく医療機関を受診する
- □救急車を呼ぶ
- ■その他
- ■無回答

② 「夜間・休日の医療機関での受診」×「居住地区」

居住地区別にみると、「受診が必要な症状か調べる」と回答した市民の割合は、豊南で 52.3% と最も高くなっています。一方、旭で 27.9%と低くなっています。また、旭では「救急車を呼ぶ」と回答した市民の割合が 24.3%と最も高くなっています。



- ■受診が必要な症状か調べる
- □電話相談窓口(とよた急病・子育てコール24~育救さんコール~:0120-799192)や医療機関、家族などに相談する □特に調べたり相談したりすることなく医療機関を受診する
- ■救急車を呼ぶ
- ■その他
- ■無回答

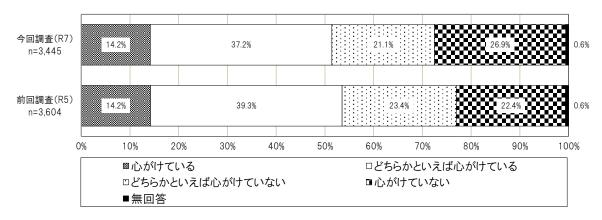
(4) 市内産農産物の購入意識

問 14

あなたは、市内で採れた農産物を購入するよう心がけていますか。(○はひとつ)

1)全体集計結果

市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合(「心がけている」+「どちらかといえば心がけている」)は 51.4%となっており、前回調査と比較して 2.1 ポイント減少しています。

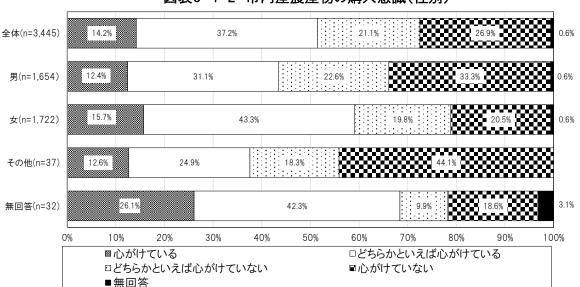


図表5-4-1 市内産農産物の購入意識(前回調査との比較)

2)属性分析結果

① 「市内産農産物の購入意識 | ×「性別 |

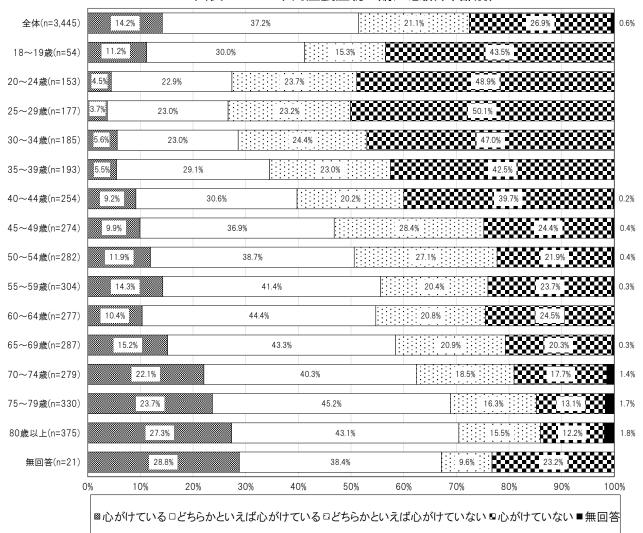
性別でみると、市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合は、女性で59.0%となっており、男性では43.5%となっています。



図表5-4-2 市内産農産物の購入意識(性別)

② 「市内産農産物の購入意識」×「年齢」

年齢別にみると、市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合は、80 歳以上が70.4%で最も高く、次いで75~79 歳が68.9%となっています。一方、25~29 歳が26.7%、20~24 歳が27.4%と低くなっています。市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合は、概ね年齢が高くなるほど増加する傾向にあります。

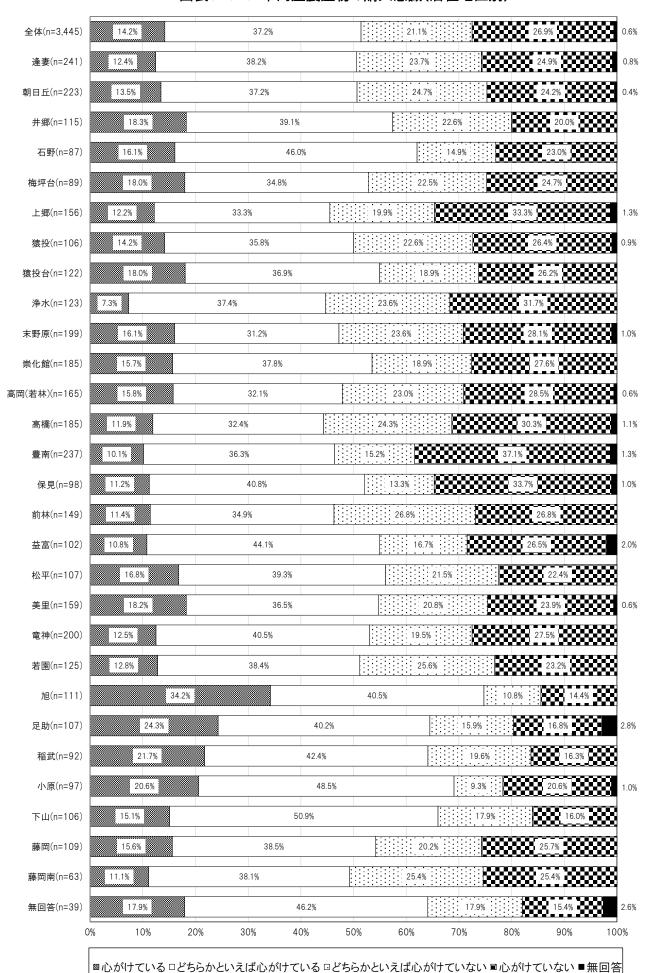


図表5-4-3 市内産農産物の購入意識(年齢別)

③ 「市内産農産物の購入意識」×「居住地区」

居住地区別にみると、市内で採れた農産物を購入するように心がけている市民の割合は、旭が 74.7%で最も高く、次いで小原が 69.1%、下山が 66.0%となっています。一方、高橋が 44.3%、浄水が 44.7%と低くなっています。

図表5-4-4 市内産農産物の購入意識(居住地区別)



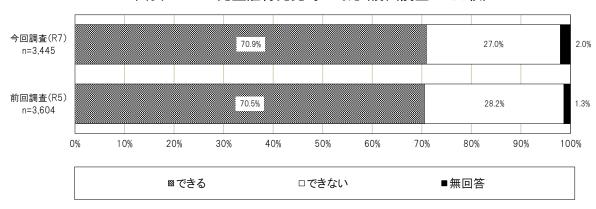
(5) 児童虐待発見時の対応

問15

あなたは、近所で児童虐待を受けていると思われるこどもを見つけたとき、市役所(こども相談課)、児童相談所または警察に連絡できますか。(1 つに〇)

1)全体集計結果

近所で児童虐待を受けていると思われるこどもを見つけたときに、市役所(こども相談課)、 児童相談所または警察に連絡できると答えた市民の割合は 70.9%となっており、前回調査と 比較すると 0.4 ポイント増加しています。一方、連絡できないと答えた市民の割合は 27.0% で、前回調査から 1.2 ポイント減少しています。



図表5-5-1 児童虐待発見時の対応(前回調査との比較)

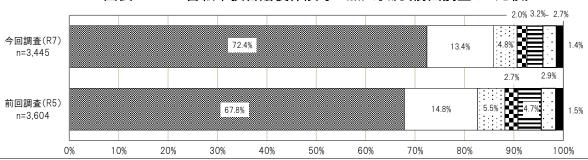
(6) 自転車損害賠償保険等の加入状況

問 16 あなたは、自転車損害賠償保険等に加入していますか。(1 つに○)

※「豊田市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」において、自転車を利用する場合は自転車 損害賠償保険等に加入することが義務付けられています。

1)全体集計結果

自転車損害賠償保険等の加入状況は、「加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険(個人賠償責任保険等)で自転車による損害賠償に対応している」が13.4%で、前回調査と比較して1.4ポイント減少しています。また、「自転車に乗らない」と回答した市民の割合は72.4%で、前回調査と比較して4.6ポイント増加しています。



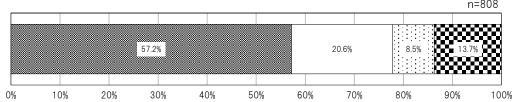
図表5-6-1 自転車損害賠償保険等の加入状況(前回調査との比較)

■自転車に乗らない

- □加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険(個人賠償責任保険等)が自転車による損害賠償に対応している □自転車保険(個人タイプ・ファミリータイプなど)に加入している
- ■販売店等で自転車の点検・整備を受け、「TSマーク付帯保険」に加入している(1年間の有効期間内のもの)
- ■自転車に乗るが、いずれにも加入していない
- 口わからない
- ■無回答

このうち、「自転車に乗らない」、「わからない」、「無回答」を除いて集計すると、「加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険(個人賠償責任保険等)で自転車による損害賠償に対応している」が 57.2%と最も高く、次いで「自転車保険(個人タイプ・ファミリータイプなど)に加入している」が 20.6%となっています。

図表5-6-2 自転車損害賠償保険等の加入状況(「自転車に乗らない」「わからない」「無回答」を除く)



- ■加入している火災保険や自動車保険、総合共済、団体保険などの付帯保険(個人賠償責任保険等)が自転車による損害賠償に対応している
- □自転車保険(個人タイプ・ファミリータイプなど)に加入している
- □販売店等で自転車の点検・整備を受け、「TSマーク付帯保険」に加入している(1年間の有効期間内のもの)
- ■自転車に乗るが、いずれにも加入していない

2 自身の活動等

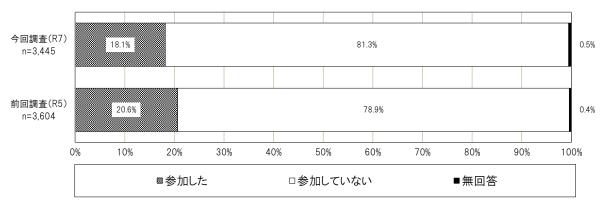
(1) 児童生徒と行う地域活動への参加状況

問 17

あなたは、この 1 年以内に、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に参加しましたか。(1 つに \bigcirc)

1)全体集計結果

小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」と回答した市民の割合は 18.1%となっており、前回調査と比較して 2.5 ポイント減少しています。

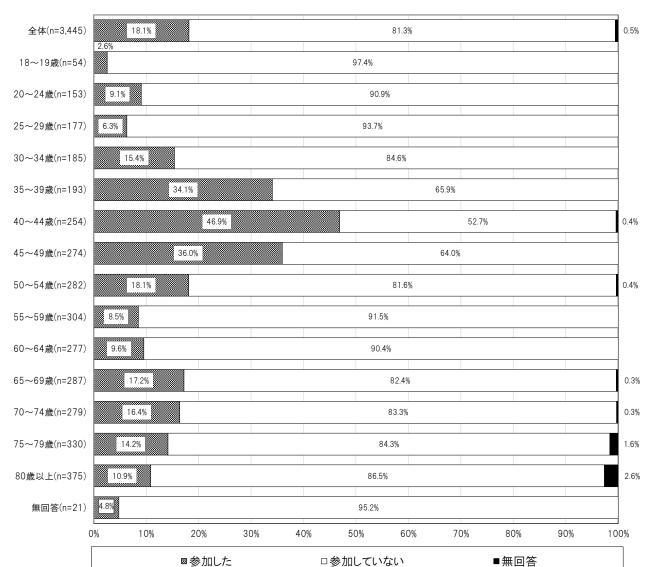


図表5-7-1 児童生徒と行う地域活動への参加状況(前回調査との比較)

2)属性分析結果

① 「児童生徒と行う地域活動への参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」と回答した市民の割合は、40~44歳が46.9%と最も高く、次いで45~49歳が36.0%となっています。

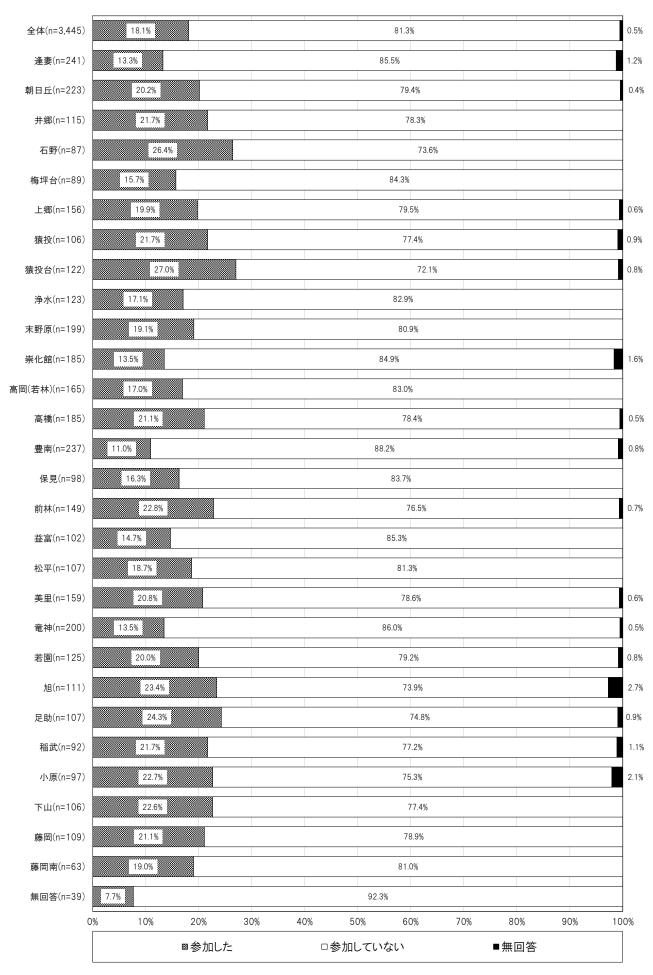


図表5-7-2 児童生徒と行う地域活動への参加状況(年齢別)

② 「児童生徒と行う地域活動への参加状況」×「居住地区」

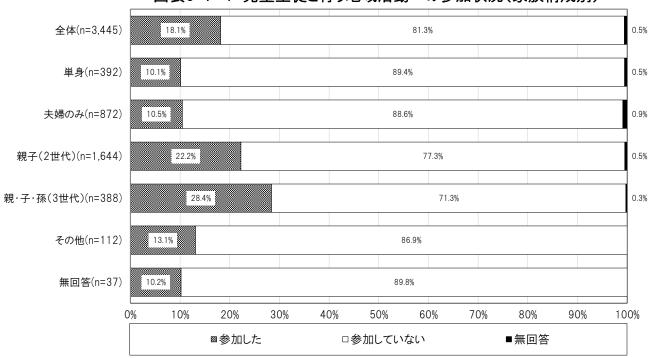
居住地区別にみると、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」 と回答した市民の割合は、猿投台が27.0%と最も高く、次いで石野が26.4%、足助が24.3% となっています。

図表5-7-3 児童生徒と行う地域活動への参加状況(居住地区別)



④ 「児童生徒と行う地域活動への参加状況」×「家族構成」

家族構成別にみると、小中学校の活動または児童生徒とともに行う地域の活動に「参加した」 と回答した市民の割合は、親・子・孫(3世代)世帯で 28.4%と最も高くなっています。一 方、単身世帯では 10.1%と低くなっています。



図表5-7-4 児童生徒と行う地域活動への参加状況(家族構成別)

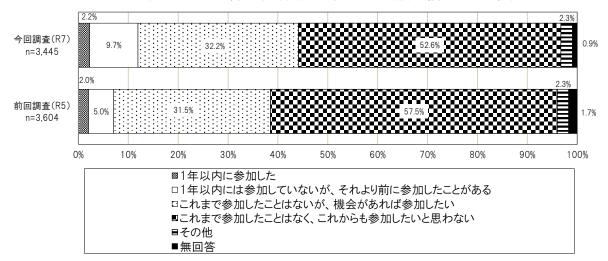
(2) 国際交流活動への参加状況

問 18

あなたは、国際交流に関する活動に参加したことがありますか。(1つに○)

1)全体集計結果

国際交流活動に参加したことがある(「1年以内に参加した」+「1年以内に参加したことはないが、それより前に参加したことがある」)と回答した市民の割合は 11.9%となっており、前回調査と比較して 4.9 ポイント増加しています。また、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい」は 32.2%で、前回調査と比較して 0.7 ポイント増加しています。一方、「これまで参加したことはなく、これからも参加したいとは思わない」と回答した市民の割合は、52.6%で前回調査と比較して 4.9 ポイント減少しています。



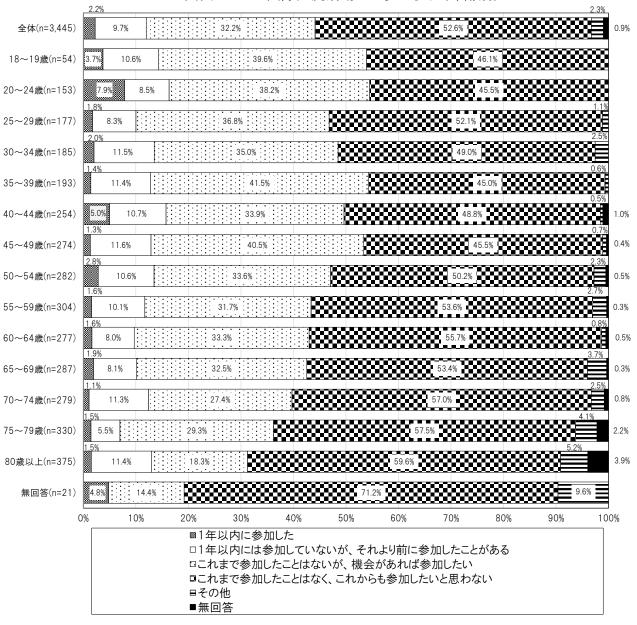
図表5-8-1 国際交流活動への参加状況(前回調査との比較)

2)属性分析結果

「国際交流活動への参加状況」×「年齢」

年齢別にみると、国際交流活動に参加したことがあると回答した市民の割合は、20~24 歳が 16.4%と最も高く、次いで 40~44 歳が 15.7%となっています。また、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい」と回答した市民の割合は 35~39 歳が 41.5%と最も高く、次いで 45~49 歳が 40.5%となっています。





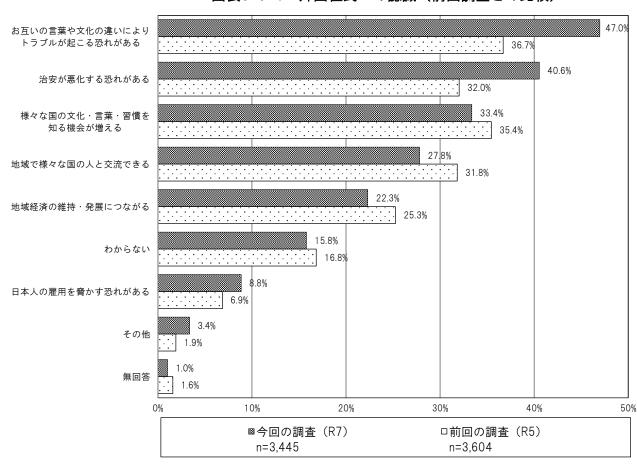
(3) 外国住民への認識

問 19

豊田市は、県内でも外国人人口の多い自治体で、約2万人が居住されています。 あなたは、市内に外国人住民が多いことについて、どう思いますか。(当てはまるもの全てに○)

1)全体集計結果

市内に外国住民が多いことについて、「お互いの言葉や文化の違いによりトラブルが起こる恐れがある」と回答した市民の割合は 47.0%で、前回調査と比較して 10.3 ポイント増加しています。また、「治安が悪化する恐れがある」と回答した市民の割合は 40.6%で前回調査と比較して 8.6 ポイント増加しています。「様々な国の文化・言葉・習慣を知る機会が増える」、「地域で様々な国の人と交流できる」、「地域経済の維持発展につながる」といった、肯定的な選択肢の回答は減少傾向にあります。



図表5-9-1 外国住民への認識(前回調査との比較)

2) 属性分析結果

① 「外国住民への認識」×「年齢」

年齢別にみると、市内に外国住民が多いことについて、「お互いの言葉や文化の違いによりトラブルが起こる恐れがある」と回答した市民の割合は、35~39歳が56.6%と最も高く、次いで30~34歳が56.4%となっています。また、「治安が悪化する恐れがある」と回答した市民の割合は、20~64歳までの年齢層で40%を超えています。

図表5-9-2 外国住民への認識(年齢別)

	る ルが起こる恐れがあ の違いによりトラブ お互いの言葉や文化	がある	が増える葉・習慣を知る機会様々な国の文化・言	と交流できる地域で様々な国の人	展につながる地域経済の維持・発	わからない	す恐れがある日本人の雇用を脅か	その他	無回答
全体 (n=3, 445)	47. 0%	40. 6%	33. 4%	27. 8%	22. 3%	15. 8%	8.8%	3. 4%	1.0%
18~19歳 (n=54)	36. 2%	30. 6%	23. 1%	28. 1%	13. 1%	21.5%	15. 6%	5. 6%	0.0%
20~24歳 (n=153)	47. 8%	43. 1%	35.8%	33. 0%	22.1%	10. 9%	13. 3%	2. 7%	0.7%
25~29歳 (n=177)	45. 5%	48. 4%	39.6%	31. 2%	18.1%	11.0%	7.5%	2. 8%	0.0%
30~34歳 (n=185)	56. 4%	52. 4%	33.0%	31.5%	18. 3%	7.7%	10. 9%	3.1%	0.0%
35~39歳 (n=193)	56.6%	54. 6%	41.3%	31.9%	20.8%	7.0%	11. 1%	3. 4%	0.0%
40~44歳 (n=254)	50. 4%	44. 8%	40. 7%	33. 9%	20. 9%	11.6%	12. 9%	3. 4%	1.0%
45~49歳 (n=274)	51. 2%	41. 4%	40. 6%	33. 0%	22. 4%	9. 4%	10. 2%	4. 2%	0.4%
50~54歳 (n=282)	51.4%	44. 4%	36.3%	34. 0%	23. 5%	9.9%	8.9%	5.9%	0.4%
55~59歳 (n=304)	54.0%	41. 1%	35. 5%	27. 5%	22. 2%	12. 7%	7. 4%	3. 3%	0.3%
60~64歳 (n=277)	51.6%	40. 7%	33. 5%	25. 8%	26. 7%	16. 2%	8.5%	3.8%	0.4%
65~69歳 (n=287)	49. 7%	38. 6%	32.0%	24. 7%	25. 6%	15. 1%	7.7%	1. 4%	0.0%
70~74歳 (n=279)	45. 5%	35. 3%	27. 6%	23. 8%	23. 4%	19. 9%	6.5%	3. 2%	1. 2%
75~79歳 (n=330)	40.0%	33. 1%	27. 9%	22. 8%	22. 9%	23. 3%	8. 2%	3. 5%	2.6%
80歳以上(n=375)	28. 5%	30. 0%	22. 3%	19. 4%	21. 1%	32. 3%	5. 6%	2. 0%	4. 2%
無回答(n=21)	14. 4%	28. 0%	43. 2%	24. 0%	28. 8%	24. 0%	4.8%	9.6%	0.0%

[※]回答を見やすくするよう、回答率40%以上に濃い影、20%以上40%未満に薄い影をつけました。

② 「外国住民への認識」×「居住地区」

居住地区別にみると、市内に外国住民が多いことについて、「お互いの言葉や文化の違いによりトラブルが起こる恐れがある」と回答した市民の割合は、多くの地区で 40%を超えており、松平が 53.3%と最も高く、次いで益富が 52.9%、猿投台が 50.8%となっています。

図表5-9-3 外国住民への認識(居住地区別)

	こる恐れがあるりトラブルが起いの言葉や	恐れがある治安が悪化する	える を知る機会が増 化・言葉・習慣 様々な国の文	る人と交流でき地域で様々な国	がる 展につな地域経済の維	わからない	るかす恐れがあ日本人の雇用を	そ の 他	無回答
全体 (n=3, 445)	47. 0%	40. 6%	33. 4%	27. 8%	22. 3%	15. 8%	8.8%	3.4%	1.0%
逢妻(n=241)	44. 8%	38. 2%	24. 5%	21. 6%	21. 6%	20. 7%	10.0%	2.9%	0. 4%
朝日丘(n=223)	47. 5%	40. 4%	34. 1%	25. 6%	23. 8%	14. 3%	12.6%	5.8%	0. 9%
井郷 (n=115)	47. 0%	42. 6%	32. 2%	26. 1%	16. 5%	13. 0%	6.1%	3.5%	2. 6%
石野 (n=87)	48. 3%	39. 1%	35. 6%	36. 8%	17. 2%	16. 1%	13.8%	1.1%	1. 1%
梅坪台 (n=89)	47. 2%	42. 7%	30.3%	29. 2%	29. 2%	13. 5%	12. 4%	2. 2%	1. 1%
上郷 (n=156)	47. 4%	34. 0%	25. 0%	21. 2%	19. 2%	21. 2%	9.0%	4. 5%	1. 9%
猿投(n=106)	44. 3%	28. 3%	35.8%	29. 2%	25. 5%	17. 9%	1.9%	3.8%	0.0%
猿投台(n=122)	50. 8%	45. 1%	34. 4%	28. 7%	24. 6%	17. 2%	5. 7%	1.6%	1.6%
浄水 (n=123)	46. 3%	44. 7%	39.8%	32. 5%	21. 1%	12. 2%	10.6%	6.5%	0.8%
末野原 (n=199)	44. 2%	42. 2%	33. 7%	28. 6%	26. 1%	16.6%	9.0%	2.5%	2.0%
崇化館(n=185)	48. 6%	45. 9%	34. 1%	27. 0%	22. 2%	16. 8%	9.7%	3.8%	1.1%
高岡(若林) (n=165)	46. 7%	43. 6%	34. 5%	26. 1%	24. 2%	15. 8%	12. 1%	3.6%	0.0%
高橋(n=185)	47. 0%	42. 2%	34. 6%	32. 4%	20. 5%	15. 7%	5.9%	1.6%	1.1%
豊南 (n=237)	50. 2%	41.4%	36.3%	32. 1%	19. 0%	13. 1%	9.3%	3.0%	0.8%
保見(n=98)	45. 9%	38. 8%	33. 7%	25. 5%	15. 3%	17. 3%	5.1%	7.1%	0.0%
前林 (n=149)	46. 3%	39.6%	33.6%	28. 2%	21. 5%	14. 1%	6.7%	2.7%	0. 7%
益富 (n=102)	52. 9%	41. 2%	37. 3%	38. 2%	25. 5%	12. 7%	9.8%	0.0%	1.0%
松平(n=107)	53. 3%	31.8%	33. 6%	22. 4%	25. 2%	17. 8%	8. 4%	1.9%	0. 9%
美里(n=159)	48. 4%	40. 9%	37. 7%	23. 3%	20. 8%	15. 1%	12.6%	3.1%	0. 6%
竜神(n=200)	50. 5%	44. 5%	33.5%	26. 5%	22. 5%	13. 0%	10.5%	4.0%	1.5%
若園 (n=125)	50. 4%	47. 2%	35. 2%	33. 6%	26. 4%	9.6%	8.0%	2. 4%	0.8%
旭 (n=111)	36. 0%	29. 7%	31.5%	27. 9%	21. 6%	26. 1%	5. 4%	0.9%	0.0%
足助 (n=107)	37. 4%	32. 7%	36. 4%	27. 1%	24. 3%	23. 4%	4. 7%	2.8%	0. 9%
稲武 (n=92)	27. 2%	29. 3%	40. 2%	39. 1%	34. 8%	22. 8%	6.5%	3.3%	0.0%
小原 (n=97)	39. 2%	33.0%	27. 8%	27. 8%	17. 5%	23. 7%	6. 2%	3.1%	2.1%
下山 (n=106)	47. 2%	39.6%	27. 4%	26. 4%	17. 0%	16.0%	10. 4%	1.9%	0.9%
藤岡 (n=109)	42. 2%	39. 4%	32.1%	28. 4%	26. 6%	15. 6%	5.5%	2.8%	1.8%
藤岡南 (n=63)	47. 6%	39. 7%	30. 2%	33. 3%	20. 6%	9.5%	4.8%	3. 2%	0.0%
無回答(n=39)	23. 1%	33. 3%	38.5%	23. 1%	20. 5%	20. 5%	7.7%	10.3%	2. 6%

※回答を見やすくするよう、回答率 40%以上に濃い影、20%以上 40%未満に薄い影をつけました。

3 豊田市のまちづくり

(1) 施策に対する満足度

問 20

あなたは、現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(各設問とも○はひとつ)

ここでは、市の取組に対して、市民がどの程度満足しているのか (=満足度)を把握します。 満足度は図表 5-10-1 のとおり、7 段階で評価し、施策ごとに平均値を出しています。この 評点を指標として、満足度の分析を行いました。

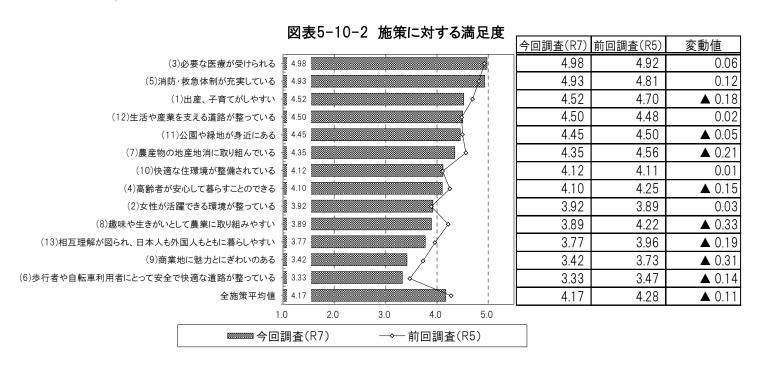
図表 5-10-1 施策に対する満足度の数値

.··	•••		高い	←	> どち	うとも言え	ない	\longleftrightarrow	低い	†	つからなし
	1	出産、子育てがしやすいまち	7	6	5	4	3	2	1		0
	2	学校教育が充実したまち	7	6	5	4	3	2	1		0
	3	地域で若者が活動しているまち	7	6	5	4	3	2	1		0

判断できない(わからない)場合は「0」

1)全体集計結果

満足度の平均値は4.17となっており、前回調査と比較すると、0.11ポイント減少しています。各施策の満足度及び前回調査との比較は図表5-10-2のとおりです。



図表5-10-3 施策に対する満足度で変動が大きい施策

順位	数値が増加した施策	変動値	順位	数値が減少した施策	変動地
1	(5)消防・救急体制が充実している	+0.12	1	(8)趣味や生きがいとして農業に取り組みやすい	-0.33
2	(3)必要な医療が受けられる	+0.06	2	(9)商業地に魅力とにぎわいのある	-0.31
3	(2)女性が活躍できる環境が整っている	+0.03	3	(7)農産物の地産地消に取り組んでいる	-0.21
4	(12)生活や産業を支える道路が整っている	+0.02	4	(13)相互理解が図られ、日本人も外国人もともに暮らしやすい	-0.19
5	(10)快適な住環境が整備されている	+0.01	5	(1)出産、子育てがしやすい	-0.18